

令和3年度 事業報告書

社会福祉法人
高石市社会福祉協議会

令和3年度事業報告

法人運営・総務関係

1. 理事会・運営調整委員会等の開催

開催日	内 容	場 所	出席者
正副 会長会 3.5.28 (第1回)	案 件 第1号 人事・総務関係について 第2号 令和2年度事業報告・決算について 第3号 令和3年6月度役員改選について 第4号 令和3年6月度開催理事会・評議員会の案件について 第5号 令和3年度の新規受託事業の進捗状況について 第6号 新型コロナウイルス感染症に伴う福祉支援活動について	社協 会議室	正副会長 4名 業務執行 理事 1名
理事会 3.6.9 (第1回)	案 件 第1号 職務執行状況の報告について 第2号 令和2年度事業報告(案)について 第3号 令和2年度決算報告(案)について 第4号 理事・監事候補者の選任について 第5号 評議員候補者の選任・解任について 第6号 評議員選任・解任委員の選任・解任について 第7号 令和3年度第1回評議員会の招集事項について 報 告 第1号 専決処分の報告(令和2年度)について 第2号 専決処分の報告(令和3年度)について 第3号 地域福祉事業の進捗状況について 第4号 新型コロナウイルス感染症に伴う取組状況について その他	市役所 別館3階 会議室 311	理事 14名 監事 2名
理事会 3.6.24 (第2回)	案 件 第1号 会長、副会長及び業務執行理事の選任について 報 告 第1号 高石市社会福祉協議会の活動状況について その他	市役所 別館3階 会議室 312	理事 16名 監事 2名

開催日	内 容	場 所	出席者
正副 会長会 3. 8. 30 (第2回)	案 件 第1号 補正予算について 第2号 賛助会員加入促進事業の実施について 第3号 孤立ゼロプロジェクト事業の進捗状況について 第4号 新型コロナウイルス感染症に伴う福祉支援活動について 第5号 事業活動の見直しについて 第6号 赤い羽根共同募金運動について 第7号 令和3年9月度開催 理事会の案件について	社協 会議室	正副会長 4名 業務執行 理事 1名
理事会 3. 9. 13 (第3回)	案 件 第1号 職務執行状況の報告について 第2号 訪問介護事業の廃止について 報 告 第1号 専決処分の報告について 第2号 孤立ゼロプロジェクト事業の進捗状況について 第3号 新型コロナウイルス感染症に伴う取組状況について その他	市役所 別館1階 会議室 113	理事 14名 監事 2名
正副 会長会 3. 11. 17 (第3回)	案 件 第1号 生活困窮者一時生活支援事業の受託(新規事業)について 第2号 補正予算について 第3号 高石市社会福祉協議会定款の一部改正について 第4号 高石市社会福祉協議会経理規程の一部改正について 第5号 総務・人事関係について 第6号 孤立ゼロプロジェクト事業の進捗状況について 第7号 新型コロナウイルス感染症に伴う取組状況について 第8号 理事会・評議員会の案件について	社協 会議室	正副会長 4名 業務執行 理事 1名
理事会 3. 11. 30 (第4回)	案 件 第1号 生活困窮者一時生活支援事業の受託(新規事業)について 第2号 補正予算について 第3号 高石市社会福祉協議会定款の一部改正について 第4号 高石市社会福祉協議会経理規程の一部改正について 第5号 令和3年度第2回評議員会の招集事項について 報 告 第1号 孤立ゼロプロジェクト事業の進捗状況について 第2号 新型コロナウイルス感染症に伴う取組状況について その他	市役所 別館3階 会議室 311	理事 13名 監事 2名

開催日	内 容	場 所	出席者
正副 会長会 4.1.6 (第4回)	案 件 第1号 総務・人事関係について 第2号 令和3年度賛助会員・会費状況について 第3号 令和4年度事業計画・予算について 第4号 第15回たかいしボランティア・市民活動フェスティバルの開催について	社協 会議室	正副会長 3名 業務執行 理事 1名
理事会 4.1.24 (第5回)	案 件 第1号 職務執行状況の報告について 第2号 高石市社会福祉協議会事務局に関する規則の一部改正について 第3号 高石市社会福祉協議会正規職員の給与に関する規程の一部改正について 第4号 高石市社会福祉協議会職員の育児・介護休業等に関する規則の一部改正について 第5号 高石市社会福祉協議会非常勤登録職員就業規則の一部改正について 第6号 高石市社会福祉協議会非常勤職員就業規則の一部改正について 報 告 第1号 専決処分の報告について 第2号 令和3年度賛助会員・会費状況について その他	書面による決議	理事総数 17名 賛成 17名 反対 0名
正副 会長会 4.3.1 (第5回)	案 件 第1号 人事・総務関係について 第2号 令和4年度事業計画・予算について 第3号 老人福祉センター(瑞松苑)の移転統合について 第4号 第15回たかいしボランティア・市民活動フェスティバル事業について 第5号 令和4年3月度開催理事会・評議員会の案件について	社協 会議室	正副会長 4名 業務執行 理事 1名
理事会 4.3.14 (第6回)	案 件 第1号 職務執行状況の報告について 第2号 役員等賠償責任保険の加入について 第3号 令和4年度事業計画(案)について 第4号 令和4年度予算(案)について 第5号 令和3年度第3回評議員会の招集事項について 報 告 第1号 高石市立老人福祉センター(瑞松苑)の移転統合について その他	市役所 別館3階 多目的ホール	理事 12名 監事 1名

2. 評議員会の開催

開催日	内 容	場 所	出席者
評議員会 3.6.24 (第1回)	議 案 第1号 専決処分の報告（令和2年度）について 第2号 令和2年度事業報告について 第3号 令和2年度決算報告について 第4号 理事・監事の選任について 第5号 専決処分の報告（令和3年度）について 報 告 第1号 地域福祉事業の進捗状況について 第2号 新型コロナウイルス感染症に伴う取組状況について その他	市役所 別館1階 会議室113	評議員 26名 理事 5名
評議員会 3.12.16 (第2回)	議 案 第1号 専決処分の報告について 第2号 生活困窮者一時生活支援事業の受託（新規事業）について 第3号 訪問介護事業の廃止について 第4号 補正予算について 第5号 高石市社会福祉協議会 定款の一部改正について 報 告 第1号 孤立ゼロプロジェクト事業の進捗状況について 第2号 新型コロナウイルス感染症に伴う取組状況について その他	市役所 別館3階 多目的ホール	評議員 32名 理事 4名
評議員会 4.3.24 (第3回)	議 案 第1号 専決処分の報告（第4回補正予算）について 第2号 令和4年度事業計画（案）について 第3号 令和4年度予算(案)について 報 告 第1号 高石市立老人福祉センター（瑞松苑）の移転統合について その他	市役所 別館3階 多目的ホール	評議員 28名 理事 4名

3. 法人監査の実施

実施日	内 容	場 所	監査実施者
3. 5. 26	令和2年度計算関係書類・財産目録並びに事業報告等及び社会福祉充実残額の算定における監査について	社協 会議室	監 事 岩井永義 監 事 大西正容

4. 財務会計・組織運営巡回監査の実施

実施日	内 容	場 所	内部統制 支援実施者
3. 5. 17	令和2年12月から令和3年3月の間による会長及び業務執行理事の職務(法人運営・会計管理)執行状況について、巡回監査業務委託先「栗谷会計事務所」における調査・報告について	社協 会議室	栗谷会計 事務所 税理士 栗谷和昭
3. 8. 27	令和3年4月から7月の間による会長及び業務執行理事の職務(法人運営・会計管理)執行状況について、巡回監査業務委託先「栗谷会計事務所」における調査・報告について	社協 会議室	栗谷会計 事務所 税理士 栗谷和昭
3. 12. 22	令和3年8月から11月の間による会長及び業務執行理事の職務(法人運営・会計管理)執行状況について、巡回監査業務委託先「栗谷会計事務所」における調査・報告について	社協 会議室	栗谷会計 事務所 税理士 栗谷和昭

5. 職務執行状況の報告

報告日	内 容	場 所	報告者
3. 6. 9 理事会	第1回理事会において、職務執行状況の報告 i. 事業報告 (令和2年12月から令和3年3月まで) ii. 収支報告 (令和2年4月から令和3年3月まで) iii. 法人監事監査 iv. 寄附預託・払出し報告	社協 会議室	会長 山崎雅雄 業務執行理事 宮下勇樹
3. 9. 13 理事会	第3回理事会において、職務執行状況の報告 i. 事業報告 (令和3年4月から7月まで) ii. 収支報告 (令和3年4月から7月まで) iii. 寄附預託・払出し報告	社協 会議室	会長 山崎雅雄 業務執行理事 宮下勇樹
4. 1. 24 理事会	第5回理事会において、職務執行状況の報告 i. 事業報告 (8月から11月まで) ii. 収支報告 (8月から11月まで) iii. 寄附預託・払出し報告	社協 会議室	会長 山崎雅雄 業務執行理事 宮下勇樹

6. 評議員選任・解任委員会等の開催

実施日	内 容	場 所	出席者
3.6.9 (第1回)	案 件 第1号 評議員の選任について 任期満了のため、評議員定数35名以上40名以内に 基づき、40名の選任を行う。	社協 会議室	委員 3名

7. 組織構成会員加入の促進

各種団体、福祉施設及び関係機関に幅広く加入して頂き、また本会評議員の選出母体など、社協の運営に参画して頂いた。 組織構成会員数 53団体

令和3年度 組織構成会員 一覧 (順不同)		
高石市	高石市議会	高石市連合自治会
高石市婦人団体協議会	高石商工会議所	高石ロータリークラブ
高石市民生委員児童委員協議会	高石市保護司会	高石市更生保護女性会
(社福)遺徳会	(社福)福昭会	(社福)亨文会
(一財)高石市保健医療センター	(社福)徳友会	(社福)南海福祉事業会
(社福)浜寺会	(社福)温友会	(社福)いずみ野福祉会
(社福)和泉乳児院	(社福)不易創造館	高石市ボランティア連絡会
NPO 法人きずな	NPO 法人やまびこ	NPO 法人せかんど
NPO 法人泉ひまわりの会	NPO 法人せらび	NPO 法人明日架
(医)医進会 高石加茂病院	(医)良秀会 高石藤井病院	(医)博我会 高石病院
(医)微風会 浜寺病院	(公社)高石市シルバー人材センター	高陽校区福祉委員会
高石校区福祉委員会	羽衣校区福祉委員会	東羽衣校区福祉委員会
加茂校区福祉委員会	清高校区福祉委員会	取石校区福祉委員会
高石市シニアクラブ連合会	高石手をつなぐ親の会	高石市視覚障害者福祉会
高石市教育委員会	高石小中学校長会	高石市医師会
高石市歯科医師会	高石薬剤師会	高石防災協会
高石交通安全協会	高石市人権協会	高石市事業所人権教育 推進連絡協議会
渋谷光美 (羽衣国際大学)	村上洋次 (南海福祉看護専門学校)	

8. 賛助会員・特別賛助会員加入の促進

各校区福祉委員会をはじめ自治会等各種関係団体、地域住民の方々のご協力により、地域での福祉活動推進のための安定した財政基盤づくり及び本会事業の啓発宣伝を目的として、賛助会員並びに特別賛助会員への加入促進に努めた。

総 計 表

区 分	2 年 度		3 年 度	
	件 数	金 額	件 数	金 額
賛助会員	6,491	8,284,950 円	7,494	9,497,000 円
特別賛助会員	106	1,080,000 円	112	1,140,000 円
総 計	6,597	9,364,950 円	7,606	10,637,000 円

各校区福祉委員会別実績表

校区名	件 数	賛 助 会 費	件 数	特別賛助会費	件数計	金額計
高 陽	1,535	2,016,500 円	15	150,000 円	1,550	2,166,500 円
高 石	1,618	2,124,000 円	22	220,000 円	1,640	2,344,000 円
羽 衣	1,130	1,341,500 円	13	150,000 円	1,143	1,491,500 円
東羽衣	1,231	1,371,000 円	1	10,000 円	1,232	1,381,000 円
加 茂	476	614,000 円	12	120,000 円	488	734,000 円
清 高	705	874,000 円	10	100,000 円	715	974,000 円
取 石	799	1,156,000 円	21	210,000 円	820	1,366,000 円
校区外	0	0 円	18	180,000 円	18	180,000 円
総 計	7,494	9,497,000 円	112	1,140,000 円	7,606	10,637,000 円

9. 役職員研修活動

社協事業の活性化をはかる為、下記のとおり役職員が研修会に参加した。

年月日	研修内容	研修場所
3. 4. 23	働く暮らし相談会（成年後見制度ってなに）	オンライン
3. 5. 27	2021年度高齢者虐待対応研修（基礎研修）	オンライン
3. 5. 28	大阪府相談支援従事者専門コース別研修 地域移行・地域定着支援コース	オンライン
3. 6. 25	感染症・食中毒予防対策講習会	オンライン
3. 7. 5	令和3年度大阪府・市町村社会福祉法人・施設等指導監査合同説明会	オンライン
3. 7. 9	成年後見制度利用促進に係る市町村意見交換会	大阪府泉南府民センタービル
3. 7. 27 4. 1. 24	生活支援コーディネーター養成研修	オンライン 公益社団法人国民會館
3. 7. 28	ペガサスセミナー（不整脈に合併する病気について）	オンライン
3. 8. 16	養護者による高齢者虐待対応現任者研修	オンライン 大阪府社会福祉会館
3. 8. 19 3. 12. 3	依存症相談対応・実践研修	公益社団法人国民會館 オンライン
3. 8. 23	相談実務担当者のための権利擁護に係る実務研修会	オンライン
3. 8. 27	チームオレンジ・コーディネーター研修	オンライン
3. 8. 31	大阪府強度行動障がい支援者養成研修	国際障害者交流センター
3. 9. 1	いきがい・助け合いサミットin神奈川	オンライン
3. 9. 10	令和3年度 会計管理者・担当者研修会	大阪社会福祉指導センター
3. 9. 21 3. 11. 22	障害のある方の就労パスポート研修	ハローワーク泉大津
3. 9. 29	権利擁護・虐待防止セミナー	オンライン
3. 10. 2	認知症初期集中支援チーム員研修	オンライン

年月日	研修内容	研修場所
3.10.5	認知症地域支援推進員研修	オンライン
3.10.9	防災士会泉州ブロック研修会	オンライン
3.10.21	高齢者・障害者雇用管理セミナー	テクスピア大阪 ハローワーク泉大津
3.10.22	「ヤングケアラーについて学ぶ～家族のケアを担う子どもたちの現状～」研修会	オンライン
3.11.1	相続財産管理人・不在者財産管理人制度に関する自治体職員向けセミナー	オンライン
3.11.19	成年後見制度利用促進セミナー	オンライン
3.11.26	生活困窮者自立支援制度人材養成研修事業	オンライン
3.12.2	第2回泉州がん診療連携協議会 緩和ケア部会（緩和ケアの充実に向けた泉州地域連携検討会）	オンライン
3.12.15	企業トップクラス研修会（人権啓発研修）	オンライン
3.12.15	地域包括ケアシステム充実強化研修会	オンライン
3.12.15	包括的支援体制と地域共生社会・共生社会の実現に向けた総合研修	オンライン
3.12.28	大阪府地域生活定着支援センター 被疑者等支援に関する研修会	オンライン
4.1.6	自然災害発生時の業務継続計画作成支援に関する研修会	社協会議室
4.1.14	成年後見制度実務者のための事例検討会	大阪府社会福祉会館
4.1.19	個別避難計画作成に係る研修会	オンライン
4.1.21	生活困窮者自立支援制度人材養成研修	オンライン
4.1.26	重層的支援体制整備構築推進人材養成事業 ブロック別研修	オンライン
4.1.27	大阪府ひきこもり支援に携わる人材の養成研修	オンライン
4.2.9	大阪府認知症キャラバン・メイト養成研修	ホテルアウリーナ大阪

年月日	研修内容	研修場所
4.2.16	成年後見制度と死後の手続きオンラインセミナー	オンライン
4.2.17	えせ同和行為をはじめとする不当要求行為対策セミナー	マイドームおおさか
4.2.24	令和3年度苦情解決第三者委員研修会	大阪府社会福祉会館
4.3.8	K-ねっと全国セミナー 福祉関係者が知っておきたい「任意後見制度」	オンライン
4.3.15	精神障がい者・発達障がい者就労支援推進セミナー	オンライン
4.3.18	後見事務における意思決定支援	オンライン
4.3.24	認知症地域支援推進員フォローアップ研修	オンライン

10. 啓発・宣伝活動

- (1) 社協機関紙「たかいし福祉」の発行〔6、7、9、11、2月の年5回〕
『235号～239号』を各24,400部作成し、市広報紙に折込んで全戸配布した。
※各号発行にあたり、発行の前月に各1回編集委員会を開催した。
- (2) 社協ホームページの充実
 - ・情報をスピーディに発信を行う
「イベントブログ」「職員ブログ」を活用し、情報をいち早く伝え、地域福祉情報をわかりやすく発信を行った。

11. 事務局職員資格取得状況（合計実人数64名）

令和4年3月末現在

社会福祉士	精神保健福祉士	介護福祉士	介護支援専門員	看護師等
17	3	34	34	9

(重複所持計上有)

地域福祉活動

1. 校区福祉委員会活動の推進

(1) 校区福祉委員長会議の開催

校区福祉に関する事業の情報交換により、市内校区福祉活動をより一層促進し、また校区間の連携を密にするため、次のとおり校区福祉委員長会議を開催し、校区福祉委員長同士の意見交換等を行った。

年月日	会議内容	場所
3.5.7	案件 1. 各校区福祉委員会の総会の取扱いについて 2. 令和3年度賛助会員の募集について 3. たかいし福祉の編集について 4. 役割申し合わせ事項について 5. 孤立ゼロプロジェクト事業について 6. 校区福祉委員会の近況について 7. その他	社協会議室
3.7.2	案件 1. 令和3年度賛助会員の募集について 2. 孤立ゼロプロジェクト事業について 3. 校区福祉委員会の近況について 4. その他	社協会議室
3.9.3	案件 1. 令和3年度賛助会員の募集について 2. 孤立ゼロプロジェクト事業について 3. 校区福祉委員会の近況について 4. その他	社協会議室
3.11.5	案件 1. 令和3年度賛助会員の募集について 2. 孤立ゼロプロジェクト事業について 3. 校区福祉委員会の近況について 4. その他	社協会議室
4.1.7	案件 1. 特別・賛助会員・会費の加入状況について 2. 校区福祉委員長 役割申し合わせ事業について 3. コミュニティカフェ運営助成金制度について 4. 小地域ネットワーク活動推進事業 事業報告・ 令和4年度事業計画について 5. 孤立ゼロプロジェクト事業の進捗状況について 6. 校区福祉委員会の近況について 7. その他	社協会議室

(2) 校区福祉活動の啓発

機関紙「たかいし福祉」の発行時に、校区福祉委員会から選出された編集委員を通じて、校区福祉委員会での活動を校区だよりのページにおいて紹介し、活動内容の啓発及び地域への福祉活動参加の呼びかけを行った。

2. セーフティネット事業

(1) 小地域ネットワーク活動の推進

校区福祉委員会を中心に自治会・民生委員児童委員協議会等市内主要団体の方々にご協力いただき、独居高齢者を中心に見守り・声かけによる個別援助活動を展開した。また地域で孤立しがちな援護を要する方々の集いの場として「いきいきサロン」の開催などによるグループ援助活動も実施し、「隣人同士が顔の見える関係づくり」を構築し、地域で安心して暮らせるまちづくりを目指した。

①個別援助活動

一人暮らし高齢者等や児童の登下校など、地域の中で安心して暮らせるよう、近隣住民が中心となった見守り活動を行った。

一人暮らし高齢者等	対象者及び協力者(延べ数)
	145,420人

②グループ援助活動

いきいきサロンや世代間交流会など、地域の会館等を活用し、生活支援コーディネーターによる軽体操を行ったり、小学生等が参加しやすいラジオ体操を企画し、ふれあいネットワークの輪を広げていく活動を行った。

いきいきサロン	実施回数	25回
	参加者総数	1,055人
世代間交流	実施回数	37回
	参加者総数	1,715人
地域リハビリ	実施回数	16回
	参加者総数	450人



(2) コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業の実施

コミュニティソーシャルワーカー（いきいき地域支援員）を2名配置し、総合相談窓口として生活困難ケースの支援、市生活保護担当係との連携、地域包括支援センターとの協働などを通じて市民から寄せられる様々な相談に応じた。

また、ケースへの対応を通じて関係機関へ適切に紹介を行った。

なお、相談内容等詳細の集計は以下のとおり。

1人暮らし 高齢者	高齢者のみ の世帯	身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	子育て中の 親子
73	22	10	14	53	84
一人親家庭の 親子	青少年	DV被害者	ホームレス	外国人	その他
93	0	1	6	12	1,039
合計					
1,407					

相談内容

福祉制度・サー ビスに関する相 談	生活に関する 身近な相談	健康・医療に 関する相談	生活費に関する 相談	就労に関する 相談	財産管理・権利 擁護に関する相 談
38	103	17	1,239	82	0
消費者被害に 関する相談	多重債務に関 する相談	DV・虐待に関 する相談	地域福祉・ボラン ティア活動に関する 相談	住宅に関する 相談	子育て・子どもの 教育に関する相談
0	3	5	0	25	42
その他	合計				
11	1,565				

3. 生活福祉資金貸付事業

(1) 大阪府社会福祉協議会からの受託により、各種生活福祉資金の貸付を行った。

種 類	福祉資金	小口生活資金	総合支援資金	臨時特例 つなぎ資金
相 談	105	7	1	0
申 込	28	2	0	0
決 定	17	2	0	0

(2) 今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、収入が減少または失業した方がおられる世帯に対して、新型コロナウイルス感染症特例の貸付けを行った。

種 類	特例緊急小口	特例総合支援資金	特例総合支援資金 (延長申請)	特例総合支援資金 (再貸付)
相談件数 (R3 年度)	1,477 (来所・電話の延べ件数)			
総件数 (R2.3.25～ R4.3.31)	4,019 (来所・電話の延べ件数)			
申請件数 (R3 年度)	284	259	68	293
総件数 (R2.3.25～ R4.3.31)	910	696	276	468
不承認件数 (R3 年度)	13	7	2	3
総件数 (R2.3.25～ R4.3.31)	27	11	15	4
決定総金額 (R2.3.25～ R4.3.31)	170,800,000 円	344,250,000 円	131,350,000 円	270,950,000 円
決定総金額 (R2.3.25～ R4.3.31)	917,350,000 円			

4. 生活困窮者自立支援事業

(1) 経済的困窮者や社会的孤立の状態にある方一人ひとりの状況に合わせて包括的かつ継続的な支援等を実施し、専門の支援員が他機関と連携し、問題解決に向けた支援に取り組んだ。

① 相談件数

男 性	女 性	不 明	合 計
223	138	0	361

② 世帯構成

夫婦のみ	片親世帯	家族同居
49	52	102
単身	2世帯同居	不明
150	2	6

③ 対応・方針結果の内訳

情報提供・相談対応のみで終了	他制度・他関係機関等へのつなぎ	本人未同意・同意に向けて取り組む	その他
22	321	0	18

(2) 地域で広がる孤立や孤独、失業や職場定着困難により、今日・明日食べ物がない生活困窮などの厳しい生活を送られている方や世帯に対して、フードバンク高石事業より緊急一時的な食材支援を行った。

世帯数	人数	食材
11	17	お米・缶詰・麺類(乾麺)レトルト食品・果物・野菜など 合計：約20kg



5. 各種保健福祉関係事業の開催〔共同募金配分金事業〕

(1) 老人福祉関係事業

◇シニアクラブ連合会助成金の交付

連合会に対し、活動費として、100,000円の助成金を交付した。

(2) 障がい児・者福祉事業

◇障がい者団体助成金の交付

障がい者団体に対し、活動費として、各団体 30,000 円の助成金を交付した。

@30,000円×2団体

(3) 児童・青少年福祉事業

◇子育てサロン

場所：高石市母子健康センター

日時：毎月第3火曜日 10:00~11:30

母子健康センター助産師によるなんでも相談会

7月20日(火)『本えらび・おはなし会』

講師 高石市立図書館 職員

10月19日(火)『なかよしこよし』

講師 南海愛児園子育て支援センター 保育士

11月16日(火)『子どもの事故予防について』

講師 高石市地域包括ケア推進課 保健師

12月21日(火)『楽しいクリスマス会をしよう♪』

講師 個人ボランティアデコパージュ講師
社会福祉協議会職員



◇すこやかグループ（スタイ製作部門）

場所：ボランティア・市民活動センター

日時：第2・第4水曜日 13：00～16：00

第1金曜日 9：30～16：00

（4）福祉教育の実施

市内の小学校・中学校との連携を基盤として、介護事業所・ボランティアグループとの協働による点字講座や車いすを使用した体験型の福祉教育等を通して、お互いの助け合いの大切さ（こころのバリアフリー）を体得するとともに、ボランティア活動に取り組むきっかけづくりの出前講座を行った。

対象者	開催日	内容
取石中学校2年生 2クラス 154名	3.6.21	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座 ・「聴導犬とは？」講義
高石小学校4年生 1クラス 42名	3.9.28	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座 ・車椅子、アイマスク体験 ・点字
清高小学校4年生 2クラス 53名	3.10.7	<ul style="list-style-type: none"> ・アイマスク体験 ・点字
取石小学校4年生 2クラス 79名	3.10.12	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座
取石小学校4年生 2クラス 79名	3.10.13	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子体験 ・アイマスク体験 ・点字
清高小学校5年生 2クラス 54名	3.10.15	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座 ・車椅子体験
高陽小学校4年生 2クラス 55名	3.10.21	<ul style="list-style-type: none"> ・点字



対 象 者	開催日	内 容
加茂小学校 4年生 3クラス 85名	3.11.9	・車椅子体験
清高小学校 6年生 2クラス 54名	3.11.11	・認知症サポーター養成講座 ・車椅子体験
高石中学校 1年生 5クラス 175名	3.11.15	・認知症サポーター養成講座 ・車椅子、アイマスク体験 ・高齢者疑似体験 ・点字
清高小学校 3年生 1クラス 43名	3.11.25	・車椅子体験
東羽衣小学校 3年生 2クラス 77名	3.11.26	・車椅子体験



(5) 母子・父子福祉事業

◇母子寡婦福祉会助成金の交付

団体に対し、活動費として、30,000円の助成金を交付した。

善意銀行預託金等運営

市民からの善意のご厚志を賜り、地域福祉の向上のための資材や障がい福祉の推進、災害支援活動のために払出しを行った。

【預 託】

- ・地域福祉基金 4件 計 121,283円
〔内訳：町の便利屋さん、浜寺郵便切手類販売協会、匿名2件〕
 - ・高齢・障がい福祉基金 4件 計 250,000円
〔内訳：昭和園自治会、匿名3件〕
 - ・善意銀行預託 2件 計 60,000円
〔内訳：匿名2件〕
 - ・物品預託 1件
〔内訳：匿名〕
- ジュース30缶

【払出状況】

- ・地域福祉活動推進助成 1件 本会
- ・子ども食堂活動推進助成 2件 子ども食堂運営団体
- ・障がい福祉活動推進助成 5件 障がい福祉団体

赤い羽根共同募金運動

1. 実施内容

(1) 実施期間

赤い羽根募金・・・10月1日から12月31日まで

歳末たすけあい募金・・・12月1日から12月31日まで

(2) 実施主体 大阪府共同募金会、高石地区募金会

(3) 依頼先 市内各自治会・事業所・保育所（園）・幼稚園・認定こども園・小学校・中学校・専門学校・高校・各種団体・公民館等各施設・介護保険施設・障がい者作業所・市内の駅・個人

(4) その他 新型コロナウイルス感染症対策として、大阪府共同募金会のガイドラインに沿って、実施した。

ティッシュ、お金等の受け渡しは募金者自身（セルフ）で行ってもらう形で実施した（非接触による活動）。



2. 共同募金運動各実績

(1) 赤い羽根共同募金

総額 2,098,671円

内訳

単位：円

年度	戸別募金	学校募金	街頭募金	職域募金	その他	バッジ	合計
3	1,382,625	179,196	274,283	21,567	0	241,000	2,098,671
2	1,351,619	237,832	249,533	19,956	0	229,000	2,087,940

① 街頭募金協力者 総勢 214名（10月1日・2日）

② 街頭募金実施場所 11か所（駅・スーパー等）

③ 募金箱設置協力店等 65か所



(2) 歳末たすけあい募金

総額 1,169,554円

内訳

単位：円

年度	戸別募金	街頭募金	その他	合計
3	916,269	93,285	160,000	1,169,554
2	799,408	29,365	181,500	1,010,273

(3) 義援金

・令和3年大雨災害義援金 7件 64,432円

(4) その他（街頭募金）

- ・ 10月3日（日）
ソライロマーケット 28,153円
- ・ 10月23日（土）
高師浜 REBOOT 13,385円
- ・ 11月5日（金）
高石市避難訓練 9,870円
- ・ 3月5日（土）
第15回たかいしボランティア・市民活動フェスティバル 3,050円



たかいしファミリー・サポート・センター事業

子育ての援助を必要とする方（依頼会員）と子育ての援助ができる方（提供会員）、両方を兼ねる方（両方会員）からなる地域での子育てを相互援助する会員組織で、高石市から委託を受けて運営を行った。依頼会員の登録は、随時募集（月～金）、提供・両方会員の登録は、センターが開催する講習会を受講後、登録を行った。

(1) 会員数

依頼会員	335名
提供会員	80名
両方会員	45名

(2) 会員地区別

	依 頼	提 供	両 方	合 計
羽衣	50	22	11	83
東羽衣	66	13	11	90
高師浜	32	4	2	38
千代田	36	3	3	42
加茂	48	7	9	64
西取石	36	8	2	46
取石	25	8	2	35
綾園	42	15	5	62
合計	335	80	45	460

(名)

(3) 活動内容・回数

保育施設の送迎	保育施設の送迎及び一時預かり	登校前の送迎	登校前の一時預かり	学童保育後の送迎	学童保育後の送迎及び一時預かり
17	1	20	7	2	5
障害をもつ子どもの送迎	障がいをもつ子どもの一時預かり	子どもの習い事の場合の送迎	子どもの習い事の場合の送迎及び一時預かり	保護者の短時間・臨時的就労の場合の一時預かり	保護者の外出時の一時預かり
163	26	171	5	11	2
保護者の病院受診による場合の送迎	保護者の病院受診による場合の一時預かり	保護者の産前産後の場合の子どもの送迎	保護者のリフレッシュ・習い事時の送迎	保護者のリフレッシュ・習い事時の一時預かり	合計
5	15	1	3	7	461

(4) 相談・打ち合わせ件数

新規・活動内容等についての相談 (来所・電話等含む)	事前打ち合わせ
177	30

(5) 提供会員養成講習会

①第1回ファミリーサポート講習会

6月28日(月)

「ファミリー・サポート・センターのしくみ」

講師：ファミサポアドバイザー

「子どもの事故予防」 講師：高石市地域包括ケア推進課 保健師

「普通救命講習3」 講師：堺市消防局救急課 応急手当指導員

7月5日(月)

「保育のありかたと遊び方」

講師：高石市子育て支援課 保育士

「子どもの発達について」

講師：高石市子育て支援課 発達相談員

「ほめて伸ばす子育てのコツ・虐待について」

講師：高石市こども家庭課 家庭児童相談員



7月15日(木)

「子どもの栄養と食生活」

講師：高石市地域包括ケア推進課 栄養士

「病気について・健康管理」

講師：高石市医師会 医師

②第2回ファミリーサポート講習会

11月1日(月)

「ファミリー・サポート・センターのしくみ」 講師：ファミサポアドバイザー

「子どもの事故予防」 講師：高石市地域包括ケア推進課 保健師

「普通救命講習3」 講師：堺市消防局救急課 応急手当指導員

11月8日(月)

「保育のありかたと遊び方」

講師：高石市子育て支援課 保育士

「子どもの発達について」

講師：高石市子育て支援課 発達相談員

「ほめて伸ばす子育てのコツ・虐待について」

講師：高石市こども家庭科 家庭児童相談員



11月18日(木)

「子どもの栄養と食生活」 講師：高石市福祉施設連絡会 栄養士

「病気について・健康管理」 講師：高石市医師会 医師

(6) 会員交流会(提供・両方会員交流会)

「ママをやめてもいいですか!？」上映会&ファミサポ依頼会員即日登録会

目的：ファミサポ全会員、依頼、提供会員になることができる方を主に対象とし、子育て世代の現状や共感できること等を映画鑑賞することにより、全体で共有し、子育て世代の保護者また、それを応援する側が、お互いの理解を深め、今後の子育て支援のあり方等を考えるきっかけをつくる。また会員以外の方が、子育て支援を気軽に利用できるきっかけをつくる。依頼会員登録会では、平日お仕事等で受付時間にお越しいただく事が難しい方向けに、登録会を実施し、幅広い方々にご利用いただけるよう啓発する。

開催日：3月19日(土)

場所：アプラたかいし小ホール

参加者：32名

(7) 啓発活動

7月20日・10月19日・11月16日・12月21日

子育てサロンにこたん広場

9月2日(木) 赤ちゃんと遊ぼう 10月23日(土) 高師浜 REBOOT

11月5日(金) 高石市避難訓練

12月3日(金) 傾聴ボランティア養成講座

3月5日(土) ボランティア・市民活動フェスティバル

(8) 社会参加支援活動

子育て中の方々の社会参加の一環として、派遣要請を受け、市主催等の講演会等に提供会員の派遣を行った。

- ①派遣回数 3回
- ②派遣延人数 9名



高石市乳幼児すこやか見守り支援事業

生後5か月頃から1歳頃を迎えるまでの乳幼児世帯を対象に地域ボランティア「すこやか見守りサポーター」がご自宅へ訪問し、親子の心身の状況や養育環境等の把握を行うことにより、乳幼児家庭の孤立化を防ぎ、もって乳幼児の健全な育成環境の確保を図ることを目的とする。

1. 登録人数

部門	すこやか見守りサポーター	手作りサポーター	合計
人数	48	17	65



2. すこやか見守りサポーター部門

(1) 活動実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
訪問世帯	5か月	—	—	—	—	—	30	48
	8か月	—	—	—	—	—	—	—
	12か月	—	—	43	115	38	36	39
活動件数		—	—	57	113	72	138	163
相談対応依頼		—	—	11	13	3	12	13
		11月	12月	1月	2月	3月	合計	
訪問世帯	5か月	31	48	33	39	43	272	
	8か月	—	31	48	31	46	156	
	12か月	32	40	28	24	31	426	
活動件数		95	177	165	139	183	1,302	
相談対応依頼		6	14	14	9	9	104	

※相談対応依頼については、市保健師に報告し、対応が必要なケースは個別対応を行った。

3. 子育て支援品（スタイ）作製部門

ボランティアの活動の場を作るため、高石市ボランティア連絡会と連携し、乳幼児世帯への子育て支援品（スタイ）製作に携わって頂く。



(1) 活動実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
活動回数	—	1	3	3	2	2	2
人数	—	12	38	32	23	26	24
	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
活動回数	2	1	1	中止	2	19	
人数	24	13	13	中止	20	225	

4. すこやか見守りサポーター養成講座

5月20日（木）

「導入研修」

講師：社会福祉協議会職員

「傾聴ボランティアとは」

講師：吹田傾聴ほほえみ 長谷川美津代氏

6月2日（水）

「子育て支援の経緯と傾聴の必要性」

講師：吹田傾聴ほほえみ 黒田敬子氏、西岡みさ子氏

6月11日（金）

「離乳食について」

講師：泉大津・高石フリー活動栄養士会 藤田通子氏

「市の子育て支援と事故予防」

講師：高石市地域包括ケア推進課 保健師

7月5日（月）

「保育のありかたと遊び方」

講師：高石市子育て支援課 保育士

「子どもの発達について」

講師：高石市子育て支援課 発達相談員

「ほめて伸ばす子育てのコツ・虐待について」

講師：高石市こども家庭課 家庭児童相談員

参加者：48名



5. フォローアップ研修

内 容：「ママをやめてもいいですか!？」を上映し、子育てに関する日常、また保護者の心身の状況の理解を深め、より良い訪問活動に繋げることを目的とする。

開催日：3月19日（土）

場 所：アプラたかいし 小ホール

参加者：32名

ボランティア・市民活動センター事業の推進

1. ボランティア・市民活動センターの運営

(1) ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催

日時：令和3年6月22日（火）13時30分～

場所：高石市役所別館1階 会議室113

案件：①ボランティア・市民活動センター運営委員長・副委員長の選出について

②令和2年度ボランティア・市民活動センター事業報告について

③令和3年度ボランティア・市民活動センター事業計画、今後の予定について

④令和3年度ボランティア・市民活動フェスティバル実行委員について

⑤その他

(2) 情報の収集および発信

①各種情報の常設・提供

・センター事業PRポスター掲示、各市町村社協・団体等発行物の設置

・各種イベント等の情報提供

(3) ボランティア保険の受付

ボランティア活動に安心して取り組めるよう、ボランティア保険加入の促進を図った。

① 加入状況

	ボランティア 保 険	ボランティア市民活動 行事保険	有償活動 団体保険
人 数	1,278	7,061	27

2. ボランティア情報の提供

(1) 「ボランティアだより」の編集発行

社協機関紙「たかいし福祉」に掲載（年5回）

(2) ボランティア登録

◎個人ボランティア登録

53人（男性20人 女性33人）

◎ボランティアグループ団体登録

45グループ 976人

◎NPO法人登録

登録状況 7グループ 238人

◎登録ボランティアグループ

	グループ名	活動内容	会員数
1	すみれグループ	和泉幼児院の行事手伝い・読み聞かせ グループホームの訪問、地域での活動	17
2	松の根グループ	社協バザーの手伝い	38
3	手話サークル まつぼっくり	手話学習、聴言障がい者等との交流	22
4	音訳ボランティア ひさご会	定例会、声の便り発行、声の広報制作 依頼録音図書の制作、音訳勉強会	11
5	こぶしの会	独居・高齢者宅家事手伝い、通院介助 肢体不自由児機能訓練補助	8
6	グループふれあい	障がい者作業所・老人福祉施設の手伝い	7
7	たんぽぽグループ	施設への雑巾寄贈、古切手・テレカの収集、 施設慰問、施設窓拭き	10
8	南海福祉看護専門 学校ボランティアグループ	ボランティア全般	215
9	タッチ・サン	手でさわる絵本づくり	7
10	まどか2	海外難民へ送る古着の分別作業リサイクル市	9
11	ボランティア 東羽衣	手作り作品を持っての友愛訪問、お楽しみ会	12
12	ぐるうふぼちぼち	ボランティア一般	6
13	点訳グループ	絵本の点訳、小学校総合学習の手伝い	7
14	宙の会	精神障がい者の地域での生活支援	7
15	高石マジッククラ ブ	施設慰問（マジック）	12
16	泉大津・高石フリ ー活動栄養士会	外食アドバイザー、栄養相談や食生活相談等、 勉強会	8
17	あんず	きやらの郷での花壇の手入れ、お花見	11
18	紙工房あじさい	施設慰問（ペーパークラフト）	11
19	凜	施設慰問（新舞踊・日本舞踊）	9
20	つくし	老人施設でのボランティア活動 （料理活動・整容作業等）	14
21	夢楽らいぶ一座	ギターの弾き語りショー	4
22	化粧クラブ	老人福祉施設でのメイク指導	6

	グループ名	活動内容	会員数
23	とろし・お元気クラブ	高齢者等の閉じこもり防止・機能回復のための体操等手伝い（とろしプラザ）	12
24	楽笑笑福一座	施設慰問（皿回し・南京玉すだれ・箱太鼓・陣太鼓等の大道芸）	8
25	健（すこやか）	太極拳を取り入れた健康体操	19
26	大正琴「歩み」	施設慰問（大正琴、尺八等の和楽器）	15
27	高石市バトントワリングスポーツ少年団	バトントワリングの演技発表	24
28	高石市健康生活ネットワーク	お茶・お花 児童作品展	15
29	リズム体操クラブ「バチャーター」	演歌・歌謡曲のリズムに乗せて楽しく手足や身体の運動をします	21
30	ハンドメイドクラブ	バザー製品の製作やかわいい小ものや雑貨の手作り	7
31	高石市史跡ボランティアクラブ	高石市内の史跡を市内の方に案内し、健康増進に努める	8
32	ゆめ企画ラポール	色紙や和紙を使った、花やつり飾りを介護施設に送っています。	13
33	「町の便利屋さん」	簡単な困りごとの有償支援	72
34	パソコン広場	パソコンで Word, Excel, インターネットを理解して活用できるように指導しています	44
35	高石土笛の会	各地区や障がい児施設でのオカリナ演奏	10
36	あやとり	家族の居場所づくり、音楽リトミック	14
37	BIG UP 大阪	災害支援	9
38	チームマリナフラ	フラダンスによる施設ボランティア活動	30
39	傾聴ボランティアグループえがお	福祉施設訪問による傾聴、電話による傾聴	45
40	アクティブエイジング会	レクリエーションボディケア、ベビーケア、ペットケア等の健康指導	5
41	Yuki☆DANCE	高石市内、難波で活動中のダンススクール	40
42	フラエクササイズクラブ	施設ボランティア活動、公民館まつりへの参加	10
43	マルメロの会	日々の暮らしの中で生じる困りごとのお手伝い	3
44	すこやかグループ	生後5カ月から1歳を迎えるまでの乳児のいる家庭への訪問等	64
45	「スワロウ」PC塾	PC、スマホ、タブレットに関するアドバイス等	37

◎NPO法人登録グループ

	グループ名	活 動 内 容	会員数
1	NPO 法人 泉ひまわりの会	生活支援、オレンジカフェ、子ども食堂	21
2	NPO 法人きずな	元気な高齢者づくりを中心に子どもの健全育成や、環境保全、地域への貢献など	90
3	NPO 法人子育て 支援がーちョキパー	社会教育の推進、まちづくりの推進、文化・芸術・スポーツ、国際協力、男女共同参画社会、子どもの健全育成、NPOのサポート	18
4	NPO 法人やまびこ	介護予防として歯科医による講義、歯磨き指導、「からだに優しい料理」としての料理教室、手や頭の訓練に絵手紙教室等を実施しています。	17
5	NPO 法人 FPファーム	金融教育・カラーワーク	13
6	NPO 法人陽だまり	コミュニティカフェ・認知症カフェの運営	45
7	NPO 法人 ユニグラウンド	健康イベントの開催、NPO 連絡会の開催	34

3. ボランティア連絡会活動助成金の交付

ボランティア連絡会に対し、活動費として75,000円の助成金を交付した。

4. ボランティアグループ活動助成金

本会ボランティア・市民活動センター登録のボランティアグループに対して、次のとおり活動費、研修費として各グループ10,000円を上限とし、助成金の交付を行った。

@10,000円×19グループ、@7,600円×1グループ、@6,074円×1グループ、@4,017円×1グループ、@3,276円×1グループ、@2,707円×1グループ、

5. 各種講習会の開催

ボランティアサロンの開催

ボランティアの方や市民を対象に、ボランティア同士の交流や情報交換等を目的として、高石市ボランティア連絡会との共催により開催した。

(1) おしゃべりカフェ

実施日	内 容	参加者
4月8日	初夏の寄せ植え	12
4月15日	ビーズのアート	11
4月22日	ニューズペーパーアート	10

実施日	内 容	参加者
5月13日	ぼうし型ピンクッション	10
5月20日	史跡めぐり講座	11
6月10日	マスクチャーム	10
6月17日	ゆびあみマット	13
7月8日	ティッシュケース	12
7月15日	自愛メイク	10
7月29日	万華鏡	12
8月19日	ストーンアート	8
8月26日	健腸長寿	12
9月9日	ビーズのチャーム	12
9月16日	樹木ウォッチング	12
9月30日	ピエロ	12
10月14日	健康体操	12
10月21日	史跡巡り講座⑥	11
10月28日	史跡巡り講座⑦	10
11月4日	パソコン教室	7
11月11日	千支のブローチ	12
11月18日	千支の箸袋	11
11月25日	千支の色紙	12
12月9日	ポンポンツリー	12
12月16日	八房流玉すだれ	14
12月23日	アロマストーン&ハンドバス	11
1月13日	希望の舞を	11
3月10日	コンサート	14
3月17日	脳トレダンスをしよう	10
3月31日	お花見	13
合計	29回（中止分除く）	327



(2) おしゃべりカフェ (パソコン教室)

実施日	参加者	実施日	参加者
4月1日	10	9月2日	10
5月6日	9	10月7日	8
6月3日	7	11月4日	7
7月1日	11	12月2日	9
8月5日	10	1月6日	9
合計		10回	90名



(3) パソコン教室

◇おしゃべりカフェのチラシを作成

実施月	回数	参加者
4月	4	43
5月	4	39
6月	4	43
7月	4	42
8月	4	39
9月	3	33
10月	4	45
11月	5	56
12月	3	34
1月	テレワーク	—
2月	テレワーク	—
3月	3	33
合計	35	407

6. たかいし生活支援サポーター「町の便利屋さん」活動報告

(1) 登録会員数

	合計	女性	男性
協力会員数	84	41	43
利用会員数	586		
合計	670		



(2) 相談件数

(件数およびコーディネート対応人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
相談件数	20	38	40	34	34	41	45
対応人数	20	38	40	34	34	41	45
	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
相談件数	30	31	23	32	31	399	
対応人数	30	31	23	32	31	399	

(3) 相談内容

支援区分	件数	支援細目及び件数
屋内作業(掃除・片付等)	65	掃除・風呂掃除・換気扇掃除等
屋外作業(草取・枝切等)	110	水やり・枝切り・草取り・階段掃除等
買物	50	食品・日用品等
家電・水道等交換修理	63	蛍光灯笠取替・蛇口修理・電話機点検等
家具・建具修理・移動	69	家具移動・ごみ出し・椅子修理等
その他	42	生活ごみ出し・自転車の点検・修理等
合計	399	

(4) 支援活動件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
支援件数	54	74	93	82	102	87	64
対応件数	72	97	117	92	127	116	113
	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
支援件数	131	99	54	77	98	1,015	
対応件数	143	131	85	54	114	1,261	

7. 傾聴ボランティアグループ「えがお」活動報告

(1) 会員数

(令和4.3現在)

	合 計	男性	女性
登録人数	45	5	40

(2) 活動内容・件数

①施設訪問

高齢者施設等へ会員2～3名程度で訪問し、施設を利用されている方のお話を1～2時間程度傾聴した。

※現在は新型コロナウイルス感染症の影響により、施設訪問を中止し、リモートによる傾聴活動を以下の施設で実施中。

- ・デイサービス：せかんど（月2回程度）
- ・サービス付き高齢者向け住宅：りあん高石（月2回程度）

	施設傾聴	リモート傾聴
活動件数	21	28
活動人数	24	61



②ふれあい電話

高齢者世帯等を対象に安否確認も含めて週一回ご自宅にお電話し、お話をお伺いした。

実施日時：毎週月曜日（※祝日・年末年始除く）

1部：午前10時～11時

2部：午前11時～12時

	令和3年度
活動件数	46
活動人数	103
登録者	11



③定例会の開催（毎月第2金曜日 午前10時より）

内容：活動報告、活動日程の調整等

令和3年度 計9回実施

④Café たねまき運営のボランティア活動

地域の居場所づくり事業として、「NPO 法人せかんど」と共同で活動を行った。

開催日時：毎月第4水曜日 9：30～11：00

※5月～6月、8月～9月、1～3月は新型コロナウイルスの影響により中止

	令和2年度	令和3年度
利用者	118	218
世話人	21	27
実施回数	5	5



⑤第15回たかいしボランティア・市民活動フェスティバル

開催日：令和4年3月5日（土）

内容：展示部門（DVD 上映）にて参加。傾聴を行っている様子や定例会、Café たねまきの様子を動画で撮影し、当日ステージで上映された。

8. 第15回たかいしボランティア・市民活動フェスティバル

市内ボランティア・市民活動の啓発・宣伝及び市民のボランティア・市民活動への参加促進一環として、ボランティア・市民活動フェスティバル実行委員会並びに高石市ボランティア連絡会との共催、高石市教育委員会、アプラたかいしの後援により標記事業を実施した。

今年度も、新型コロナウイルスの影響に伴い、感染防止対策を随所で行い、映像での活動啓発、また来場者が安心してステージを鑑賞できるよう、観客席の工夫また、ホワイエでは、各団体の啓発を兼ねたお土産の配布などを行った。

日時：令和4年3月5日（土）午前10時～午後3時

場所：アプラたかいし 大ホール・ホワイエ

内容：

（大ホール）各ボランティアグループの活動発表及び、

グループ紹介をDVD（※事前に撮影しものを編集）にて上映

（ホワイエ）ボランティア連絡会、民生委員児童委員協議会、日本赤十字社、

更生保護女性会、地域包括支援センター等による啓発コーナー

来場者数 870名



9. ボランティア体験プログラム（チャレボラ）の開催

内 容：視聴覚障がいについて理解し、障がいを持つ方を支援するきっかけづくり

開催日：令和3年8月3日（火）

『耳が聞こえない生活って？聴導犬アーミーとの生活』

講 師：NPO 法人 MAMIE

参加者数：23名

令和3年8月4日（水）

『手話のミニ講座』

講 師：手話サークルまっぼっくり

参加者数：10名

令和3年8月17日（火）

『音訳のミニ講座』

講 師：音訳ボランティアひさご会

参加者数：11名

令和3年8月18日（水）

『点訳のミニ講座』

講 師：点訳グループ

参加者数：11名



10. ボランティア表彰

令和3年度大阪府社会福祉大会において2グループが表彰を受け、
また新たに産経新聞厚生文化事業団より1グループが表彰を受けた。

◇ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰

点訳グループ

◇大阪府社会福祉ボランティアに対する大阪府知事表彰

大正琴「歩み」

◇善意の活動の対する産経市民の社会福祉賞

たかいし生活支援サポーター「町の便利屋さん」



1 1. ボランティア交流会

ボランティア同士の交流や情報交換を目的として、
高石市ボランティア連絡会との共催により開催。

開催日：令和3年6月25日（金）

場 所：市役所別館3階 多目的ホール

内 容：防災教室（大阪ガスネットワークカンパニー）
とグループワーク

参加者：46名



1 2. ボランティア研修会

(1) ボランティア防災活動勉強会

開催日：令和3年11月12日（金）

内 容：新型コロナウイルスの感染拡大により、管外研修会を開催することが難しかったため、防災勉強会を開催した。『高石市総合防災マップ』の活用方法等をご講義いただき、防災に対する正しい知識を身につけ、さらに防災意識を高める事により、日常生活やボランティア活動等に活かす。

参加者：54名

(2) 「令和3年度 傾聴ボランティア養成講座」

1回目：12月3日（金）

「ボランティアの心構え」「傾聴ボランティアとは？」

講師：高石市社会福祉協議会職員

吹田傾聴「ほほえみ」代表 長谷川美津代氏

2回目：12月3日（金）

「傾聴を体験してみよう！

（簡単なロールプレイ）」

講師：吹田傾聴「ほほえみ」代表 長谷川美津代氏

3回目：12月6日（月）

「活動に向けての注意点等」

講師：吹田傾聴「ほほえみ」代表 長谷川美津代氏

4回目：12月8日（水）

「傾聴のスキルを使ってロールプレイ」

講師：吹田傾聴「ほほえみ」代表 長谷川美津代氏

5回目：12月13日（月）

「認知症高齢者への接し方」

講師：アムール高石 統括責任者 米谷正次氏

参加者：16名



13. 大阪府市町村ボランティア連絡会の活動

大阪府内の市町村社会福祉協議会に所属するボランティア連絡会が会員として加盟しており、情報交換や相互の交流を図ることにより、ボランティア活動の発展と地域福祉の向上を目指すことを目的とする組織。

(1) 総会

開催日：令和3年5月26日（水）

場 所：各会場からオンライン

内 容：令和2年度事業報告及び決算、令和3年度事業計画及び予算、役員改選

※高石市ボランティア連絡会の銭廣会長が大阪府市町村ボランティア連絡会の会長となる（任期2年）。

(2) 役員会

開催日：令和3年5月26日、7月15日、9月9日、10月22日、

11月24日、12月24日、令和4年3月18日

内 容：周年事業、令和4年度事業計画、予算等

(3) 周年事業「25周年のつどい inZOOM」

開催日：令和3年12月1日（水）

場 所：ボランティアセンター（オンライン）

参加者：10名

内 容：大阪府市町村ボランティア連絡会が
設立25周年を記念し、周年事業を開催した。
記念講演、活動発表、特別企画など。



(4) 代表者会議

開催日：令和4年1月28日（金）

参加者：3名

内 容：令和3年度の事業及び会計報告、令和4年度の事業計画及び予算等

介護保険事業

1. 訪問介護事業

訪問介護事業は、介護報酬のマイナス改定による収入減額及び人手不足等により、安全・安心なサービス提供が困難になったため、令和3年12月31日付けをもって、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等のご協力・ご支援を頂き、すべての利用者様を他事業所に移行を行い、廃業とした。

(1) 訪問介護利用者数

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用者数	介護	22	21	21	21	21	20	17
	予防・総合	20	21	19	17	16	16	13
月		11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	介護	13	10	—	—	—	166	18.4
	予防・総合	8	4	—	—	—	134	14.8
							総合計	月平均
							300	33.3

(2) 要介護度別利用者数

区分	総合事業 予防給付	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
利用者数	4	7	2	1	0	0	14

令和3年12月現在

2. 居宅介護支援事業

要介護認定者に対して十分なアセスメントを行い、適切な居宅介護支援計画（ケアプラン）の作成や認定調査事業などを実施した。

(1) 居宅介護支援計画作成者数

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用者数	介護	37	35	36	36	38	35	36
	予防	0	0	0	0	0	0	0
月		11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	介護	37	39	35	33	33	430	35.8
	予防	0	0	0	0	0	0	0

(2) 要介護度別利用者件数

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
利用者数	0	0	15	6	6	5	2	34

令和4年3月現在

(3) 要介護認定訪問調査受託件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用者数	7	5	5	10	7	6	6
月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	5	9	6	7	6	79	6.5

障害者総合支援事業

1. 計画相談支援事業

相談支援専門員を配置し、障がい者等の相談に応じ、助言や連絡調整等の必要な支援を行うほか、サービス利用計画（トータルプラン）作成を実施した。

(1) サービス等利用計画給付請求件数

担当ケース数：62件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
請求件数	19	1	24	18	16	17	4
月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
請求件数	15	7	16	17	21	175	14.6

(2) サービス等利用者計画担当利用者数

区分	身体障がい	知的障がい	精神障がい	障がい児	難病等	合計
利用者数	10	35	15	2	0	62

令和4年3月現在

2. 居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業（障がい福祉サービス）

令和3年12月31日付けをもって、基幹相談支援センター、計画相談支援事業所等のご協力・ご支援を頂き、すべての利用者様を他事業所に移行を行い、廃業とした。

(1) 障がい福祉サービス利用者数

居宅：居宅介護事業 同行：同行援護・移動支援事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
居宅	12	11	11	11	9	9	8
同行	2	2	2	2	2	2	2
月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
居宅	8	7	—	—	—	86	9.5
同行	2	1	—	—	—	17	1.8

高齢者見守り支援事業

福祉有資格者によるお一人暮らし世帯を中心に、訪問活動による安否確認及び関係機関との連携による支援を実施した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
安否確認 件数	563	416	778	584	680	714	842
訪問相談 活動時間 (分)	5,460	6,045	8,425	6,305	7,355	8,695	9,435
	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
安否確認 件数	861	741	825	738	833	8,575	714.6
訪問相談 活動時間 (分)	9,830	5,235	9,100	7,835	9,560	93,280	7,773.3

◇見守り・安否確認対象者数

(総数956名)

千代田 地区	高師浜 地区	羽衣地区	東羽衣 地区	加茂地区	綾園地区	西取石 地区	取石地区
118	78	100	132	93	223	90	122

高石市福祉施設連絡会の運営

市内の福祉施設と連携し、より一層の地域福祉推進を図るため福祉施設連絡会を設立し、取組を進めた。

・構成団体 11団体

日程	内容
講師派遣	たかいしファミリーサポートセンター養成講習会 テーマ：「子どもの栄養と食生活」 第1回 令和3年11月18日（木） 講師：取石南こども園 栄養士 荒木 真希氏

災害ボランティア支援事業

1. 災害ボランティアセンター設置訓練

高石市主催の地震津波総合避難訓練が11月5日に行われ、関係団体のご協力のもと、『避難・安否・啓発』テーマを掲げ、地震・津波避難に主眼をおいた災害ボランティアセンターの設置訓練を行った。

実施日時 11月5日（金）

13:30～15:30

実施場所 広域避難地 鴨公園周辺



在宅生活支援事業

1. 高齢者配食サービス事業

在宅高齢者の生活支援と生活の質の向上を図るとともに、独居高齢者等の安否確認を行なうことを目的として、本事業を高石市から受託実施した。

なお、調理業者をまごころ弁当に依頼し、新鮮な食材を中心とした家庭的な配食の実施に取り組んだ。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用者数	34	36	37	39	43	41	41
配食数	479	437	551	535	564	554	561
	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	43	40	38	38	36	466	38.8
配食数	550	588	496	465	555	6,335	527.9

- ・申請者数 18名（内決定者18名 却下0名）
- ・配食サービス担当ケース会議 開催回数 18回

2. 日常生活自立支援事業

認知症や知的障がい・精神障がいなどにより、日常生活を送る上での判断に支援を要する方々に対して、専門員及び生活支援員による福祉サービスの利用援助や金銭管理等のサービスを提供し、安心した生活を送ることができるよう支援を行った。

なお、利用契約締結者等は以下のとおり。

利用契約締結件数	53 (3月末現在)	新規利用者数	20
		終了者数	10
相談件数	90	活動件数	944

3. 福祉車両貸与事業

外出に介助を必要とする高齢者や身体障がい者(児)等やその家族を対象とし、福祉車両の貸出を行うことにより外出の機会の提供を行った。

*令和3年度 新型コロナウイルス感染症により休止

老人福祉センター運営事業（指定管理事業）

緊急事態宣言による休館実施中においても、地域の居場所と高齢者の安否と健康管理を1年通して実施

緊急事態宣言が出され、多くの高齢者施設が閉館する中、老人福祉センターは安否確認と清潔保持を目的に入浴サービスを継続的に実施した。

また、十分に感染予防対策を行い、市と協議を行いながら老人福祉センターの再開をし、社会的孤立の回避に努めた。

1. 利用者数及びクラブ数（同好会含む）

	瑞松苑	菊寿苑	慶翠苑	合計
利用者数	25,103 (23,019)	11,502 (10,932)	17,716 (14,220)	54,321 (48,171)
新規利用者数	23	16	34	73
クラブ数	11	8	10	29

※（ ）内は、令和2年度の利用者数

2. 取り組み内容

徹底した検温 チェックの実施	非接触型検温機の設置
清潔保持の 入浴サービス支援	密を回避する為予約制の導入 入室人数の制限、荷物置き棚、手摺や扉の消毒、脱衣室、浴室の換気
消毒液の設置	出入り口、受付、トイレ、各部屋の出入り口、マッサージ機、電位治療器消毒用ペーパーの設置
感染予防対策 の普及、啓発、研修 の実施	手洗い、うがい、マスク着用、消毒など 感染予防対策について重要性の説明及びポスターの掲示 感染予防厚生労働省発行物の掲示
社会的孤立対策の 実施	入室人数の制限や人と人との間隔を十分開ける等 1年を通して換気、感染予防対策を十分行い、クラブ活動や趣味の活動の支援を実施 マッサージ機、電位治療器の開放
フレイル解消対策の 実施	百歳体操、わくわく体操を実施 延べ1,778人参加
安否確認、健康管理 の実施	随時、血圧測定 健康相談 体組成計測の実地

地域包括支援センター運営事業

地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員の3職種を中心に、基本業務の「介護予防マネジメント事業」、「総合相談支援事業」、「権利擁護事業」、「包括的・継続的ケアマネジメント事業」の充実に取り組み、誰もが住み慣れた地域でその人らしい生活ができるように、多種多様な機関の協力を得ながら、『高齢者等 SOS ネットワーク事業連絡会』、『認知症サポーター養成講座』等を実施し、中核機関として地域包括ケアシステムの構築に取り組んだ。

1. 包括的支援事業

(1) 総合相談支援事業

地域の高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続することができるように相談に応じ、どのような支援が必要かを把握することで、地域における適切なサービス、関係機関及び制度の利用につながるよう支援を行った。

① 相談方法（初回相談のみ）

来所	訪問	電話	文書	その他	合計
344	191	396	15	20	966

② 相談者（初回相談のみ）

本人	家族	親類	高石社協 (生活支援C)	介護支援専門員
290	285	9	49	78
計画相談支援事業所	在宅福祉事業所	医療機関	他地域包括支援センター	他基幹相談支援センター
3	12	49	2	0
福祉事務所 (市役所)	警察署	生活関連	関係機関	福祉施設
43	23	25	11	14
福祉・民生委員	近隣・知人	その他	合計	
31	31	11	966	

③ 相談内容（延べ数）

なんでも相談	介護相談 (介護方法等)	介護相談 サービス	SOS登録相談	徘徊支援	フォーマルサービス
951	603	591	12	19	256
フォーマルサービス	安否確認支援	生活困窮支援	虐待・権利擁護	日常生活自立支援事業	成年後見支援
193	55	83	47	68	46
認知症ケア	消費者被害支援	医療・健康相談	行政手続き支援	ケアマネジメント支援	講話等派遣依頼
46	6	76	219	52	34
本事業問合せ	その他	合計			
9	143	3,509			

2. 権利擁護事業

地域の住民や民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは十分に問題が解決できない、適切なサービス等につなげる方法が見つからない等困難な状況にある高齢者が、地域において安心して尊厳のある生活を行うことができるよう、成年後見制度の活用促進、高齢者虐待の防止とその対応、困難事例への対応、消費者被害の防止・対応等の支援を行った。

(1) 対応述べ件数 1,227件

(2) 高齢者虐待防止支援検討会議

高齢者虐待対応協力者による個別の虐待事例に対する状況報告、援助方針、援助内容、各機関の役割、主担当者、連絡体制等についての協議を行うことを目的として、高齢者虐待防止支援検討会議を開催した。

① 高齢者虐待防止支援者実数：7名

② 高齢者虐待防止支援ケース検討会議開催回数：20回

(3) 成年後見制度利用促進事業

認知症等によって判断能力の低下が見られる場合に、適切な介護サービスの利用や金銭管理、法的行為などの支援につなげるため、成年後見制度開始審判手続き等の支援を行った。

① 開始審判手続支援者数：2名

3. 介護予防マネジメント事業

二次予防高齢者が要介護状態等になることを予防するため、老人福祉センターの利用促進やコミュニティカフェの運営支援・講師派遣を行うなど、介護予防事業が包括的かつ効率的に実施できるよう必要な援助を行った。



4. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

(1) 担当地域ケア会議

高齢者が住み慣れた地域で、安心してできる限り自立した生活を送ることができるよう、要支援・要介護となるおそれのある高齢者又はその家族を対象に、効果的な介護予防・生活支援サービスや地域の見守りシステム調整、又は入退院時の関係機関間の調整を行うことを目的として、高石市担当地域ケア会議を開催した。

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| ① サービス担当者会議開催支援会議 | 開催件数 : 44回
参加者数 : 290名 |
| ② 入退院時多職種連携検討会議 | 開催件数 : 26回
参加者数 : 176名 |
| ③ 成年後見活用促進会議 | 開催件数 : 5回
参加者数 : 28名 |

(2) ケアマネジャー連絡会

市内でケアマネジメント支援活動をされている介護支援専門員を対象として、スーパーバイザー等の講師による研修会を中心に、専門職としての資質の向上、利用者の立場に立ったケアマネジメント支援の向上及び業務の質の向上を目的として、ケアマネジャー連絡会を開催した。

開催日	内 容	参加人数
3.6.23	第1回 ケアマネジャー連絡会研修会 ・令和3年度介護報酬改定され支援する中で「確認したい事」「こういう場合はどうなるのか?」「高石ではどうなのか?」等意見交換や情報共有を行う。	41名
3.7.13	介護支援専門員・相談支援員合同研修会開催 「アルコール依存症の予防」・「アルコール依存症の治療と介入」	37名
3.11.22	第2回 ケアマネジャー連絡会研修会 ・「認知症の人の意思決定支援について」日常生活・社会生活・在宅看取り等 ・事例を通じて意思決定支援の3要素について学ぶ	80名

(3) 主任介護支援専門員連絡会

市内の主任介護支援専門員との協働による組織で、介護支援専門員の資質向上の研修会企画や事例検討会、法改正等の情報交換・共有等を図るために連絡会を開催した。

開催日	内 容	参加人数
3. 4. 21	第1回定例会 ・令和3年度主任介護支援専門員連絡会の活動について ・高石孤立ゼロプロジェクト事業についての説明 ・その他	20名
3. 5. 19	第2回定例会 ・令和3年度第1回介護支援専門員連絡会研修会について「確認したい事」「こういう場合はどうなるのか？」 ・その他	21名
3. 6. 16	第3回定例会 ・事例検討 ・その他	21名
3. 7. 21	第4回定例会 ・居宅サービス計画書（第1表）考え方、記載の仕方について ・令和3年度第2回介護支援専門員連絡会研修会について（10月開催予定） ・その他	18名
3. 8. 18	第5回定例会（リモート） ・介護報酬改定により「感染症や災害への対応強化」自然災害発生時の業務継続計画（BCP）作成について ・その他	16名
3. 9. 15	第6回定例会 ・「感染症や災害への対応力強化」として・災害時の社会資源等の情報共有 ・第2回介護支援専門員連絡会研修会について ・その他	16名
3. 10. 20	第7回定例会 ・「福祉避難所について どう考えていけばよいのか？」 ・第2回介護支援専門員連絡会研修会について ・その他	15名

開催日	内 容	参加人数
3. 11. 17	第 8 回定例会 ・事例検討 2 事例	1 6 名
3. 12. 15	第 9 回定例会 ・令和 3 年度介護報酬改定について振り返り ・日常のケアマネ業務の中で「困った事」「こんな事が大変だった」等ケアマネとしてどのように対応したのか、又はどのように対応すればよかったのか等意見交換	1 6 名
4. 1. 19	第 1 0 回定例会 ・令和 3 年度介護報酬改定について振り返り (第 2 回) ・その他	1 3 名
4. 2. 16	第 1 1 回定例会 ・成年後見制度の活用方法について ・包括であった事例 ケアマネとの連携等 ・その他	1 9 名
4. 3. 16	第 1 2 回定例会 ・令和 3 年度の振り返り ・令和 4 年度の活動について ・その他	2 7 名



(4) 高齢者等 SOS ネットワーク事業連絡会

徘徊している認知症高齢者等を早期に発見し、事故等の発生を防ぐために、関係行政機関（市役所・警察等）や、身近な生活に関わる商店等の協力を得て、早期発見のための協力連携の確保・連絡網等の整備（ネットワークの構築）や認知症ケアの広報啓発等を目的として、連絡会を開催した。

見守り支援事業登録者・協力団体数

- ① 登録者数 311名
- ② 登録団体数 171団体
- ③ 市内発令件数 2件

開催日	内 容	参加人数
3. 5. 26	第1回 ・令和2年度高石市高齢者等SOSネットワーク事業の活動状況について ・令和2年度認知症サポーター養成講座 ・キャラバンメイトの活動状況について ・令和3年度 事業計画（案）について ・その他	17名
3. 8. 25	第2回 ・SOS ネットワーク事業の活動状況について ・認知症サポーター養成講座、キャラバンメイトの活動状況について ・その他	16名
3. 11. 24	第3回 ・SOS ネットワーク事業の活動状況について ・認知症サポーター養成講座、キャラバンメイトの活動状況について ・その他	15名

(5) 認知症初期集中支援チーム員会議

認知症の初期に大切な時期（約6ヶ月間）に 医療や介護の専門職につなぐことで、認知症の進行を防ぐことを目的として、支援を検討する会議を開催した。

開催日	内 容	参加人数
4. 1. 18	初期集中チームの会議は行えていないが、以前からサービスを必要とするが繋がってなかったN.Y氏のサービスをつなぐ事が出来た。	6名

(6) 認知症サポーター100万人キャラバン事業

厚生労働省が推進する「認知症を知り地域をつくる10カ年」キャンペーンの一環で、「認知症サポーター100万人キャラバン事業」を展開し、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を見守り、支援する「認知症サポーター」を養成し、認知症になっても安心して暮らせるまち作りの目的に賛同し、養成講座を実施した。

- ① サポーター養成総数：9,563名
- ② 令和3年度サポーター養成人数：636名
- ③ サポーター養成講座開催回数：11回（総回数266回）
- ④ 講師役養成講座回数：0回（総回数4回）
- ⑤ キャラバン・メイト講師派遣数：24名
- ⑥ キャラバン・メイト養成講座0回



開催日	内 容	参加人数
3.6.21	認知症サポーター養成講座 取石中学校（中学生向け）にて実施	154名
3.7.7	認知症サポーター養成講座 大阪信用金庫南支店（社会人向け）にて実施	10名
3.9.7	認知症サポーター養成講座 南海福祉専門学校（福祉専門職向け）にて実施	35名
3.9.28	認知症サポーター養成講座 高石小学校（小学校向け）にて実施	42名
3.10.4	認知症サポーター養成講座 大阪シルバー人材センター（社会市民向け） にて実施	10名
3.10.12	認知症サポーター養成講座 取石小学校（小学校向け）にて実施	79名
3.10.15	認知症サポーター養成講座 清高小学校（小学生向け）にて実施	47名
3.10.15	認知症サポーター養成講座 アムール高石（福祉専門職向け）にて実施	15名
3.11.11	認知症サポーター養成講座 清高小学校（小学校向け）にて実施	54名
3.11.15	認知症サポーター養成講座 高石中学校（中学生向け）にて実施	175名
3.11.18	認知症サポーター養成講座 きのすら（障がい者作業所向け）にて実施	15名

(7) 介護者家族の会 <きくチャンの会>

認知症を有する家族を介護している方（家族）、介護を必要とする認知症の方、高齢者・障がい者など要介護者を介護している方（家族）が、相互の親睦を図るとともに、関係機関・団体との連携を密にし、要介護者と介護者（家族）の福祉向上を図ることを目的とし、平成27年に自主的な組織として設立した。事務局として運営を支援する。

開催回数： 9回
のべ参加人数：77名



(8) 啓発活動等

① 防災訓練

第11回高石市地震・津波総合避難訓練に参加し、認知症に関する啓発を行った。

開催日：令和3年11月5日（金）
場 所：鴨公園



② 出前相談会

池田泉州銀行高石支店内で、認知症の啓発・福祉のなんでも相談会を行った。

開催日：令和3年12月16日（木）
場 所：池田泉州銀行高石支店



③ 介護福祉フェア

第15回たかいしボランティア・市民活動フェスティバルと同時開催。映像による福祉事業所の紹介、福祉のなんでも相談会を行った。

開催日：令和4年3月5日（土）
場 所：アプラたかいし ホワイトエ



(9) 認知症地域支援推進員事業

認知症になっても住み慣れた地域で暮らせる仕組みづくりを推進するため、認知症理解のための啓発活動、関係機関と情報交換や連絡会の開催など行う。

認知症地域支援推進員配置数：2名（地域包括支援センター業務兼務）

① 認知症啓発事業

認知症サポーター養成講座	11回	小中学校、企業など
その他	15回	小中学校福祉教育、防災訓練、介護福祉フェアなど

② ネットワーク構築事業

関係機関支援調整連絡会	1回	認知症初期集中支援チーム員会議
地域ケア会議参加	12回	多機関協働地域包括ケア会議
認知症支援連絡会参加	3回	高齢者等SOSネットワーク事業連絡会
その他	9回	介護者家族の会

③ 認知症に関する相談支援事業

相談支援件数	46件
--------	-----



(10) VIVIANA（げんき）通信の発行

市内の薬局、老人福祉センター等に設置、また地域のコミュニティカフェやサロン、見守り訪問活動の際に配布した。

4月	廃用症候群について	10月	インフルエンザについて
6月	熱中症について	12月	認知症と物忘れについて
8月	誤嚥性肺炎と嚥下について	2月	ヒートショックについて

配布部数 6,405

(11) 参加会議

運営推進会議 市内地域密着型サービス事業者による開催

参加回数：36回（書面開催含む）

(12) 高石市地域包括ケアフォーラム事業

地域包括ケアシステムの構築に向け、国が策定した「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等を参考に、住民が住み慣れた地域で自分らしい暮らしをどのように過ごし、どのような人生の最期をむかえるかを考える「人生会議」について理解が深まるよう「地域包括ケアフォーラム」を開催した。

開催日：令和4年3月18日（金）

場 所：アプラたかいし 大ホール



指定介護予防支援（予防給付）事業

介護保険における予防給付の対象となる要支援者が、介護予防サービス等を適切に利用できるよう、その心身の状況、その置かれている環境等を勘案し、介護予防サービス計画を作成するとともに、当該介護予防サービス計画に基づく指定介護サービス等の提供が確保されるよう、介護予防サービス事業者等関係機関との連絡調整などを行った。

(1) 介護予防支援計画作成者数

総件数	11,026	割合
地域包括作成数	9,581	86.8%
委託作成数	1,445	13.2%

(2) 介護予防支援計画作成者内訳

月	総件数	地域包括作成数	割合
4	921	797	86.5%
7	921	793	86.1%
10	937	823	87.8%
3	911	796	87.4%

(3) 要介護認定訪問調査受託件数

総件数	高石市分	市外分
312	295	17

障がい者基幹相談支援センター運営業務

障がいの種別や特性にとらわれることなく、各種のニーズに対応し、障がい者・児の心身の健康の保持及び生活の安定、または自立した生活及び社会生活を営めるために地域においての相談支援の中核的な役割を担う機関として、看護師・社会福祉士・相談支援専門員の3職種を中心に「総合的・専門的な相談支援業務」、「地域の相談支援体制強化業務」「地域移行・地域定着の促進への取組業務」「権利擁護・虐待防止支援業務」などの充実に取り組み、多種多様な機関と連携を図りながら、中核機関として共生社会の実現に向け取組んだ。

地域生活支援事業

1. 総合的・専門的な相談支援業務

地域の障がい者・児が住み慣れた地域で安心して自分らしい生活または社会生活を営み、継続できるように相談に応じ、その方の必要な支援を把握することで、適切なサービス、関係機関及び制度の利用につながるよう支援を行った。

(1) 相談方法（初回相談のみ）

来所	訪問	電話	メール	文書	出張相談	コミカフェ等	その他	合計
169	39	150	0	1	0	0	1	360

(2) 相談者（初回相談のみ）

本人	家族	親類	高石社協 (地域包括支援C)	計画相談支援 事業所
71	78	5	41	47
在宅福祉事業所	福祉施設	他基幹相談 支援センター	福祉事務所 (市役所)	警察署
8	3	2	39	7
関係機関	福祉・民生委員	近隣・知人	その他	合計
48	5	4	2	360

(3) 本人状況（初回相談のみ）

<障がい者>

身体障がい者	重症心身 障がい者	知的障がい者	知的障がい者 疑い	精神障がい者
36	2	64	4	165
精神障がい者 疑い	高次能機能 障がい者	難病疾病者	その他（不詳）	合計
34	1	1	19	326

<障がい児>

身体障がい児	重症心身障がい児	知的障がい児	知的障がい児疑い	精神障がい児	精神障がい児疑い
5	1	10	0	3	1
発達障がい児	発達障がい児疑い	高次能機能障がい児	難病疾病児	その他(不詳)	合計
7	5	0	0	2	34

(4) 相談内容

福祉サービス利用等	障がい・病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族・人間関係	家計・経済・年金・	
205	275	164	269	51	199	65	
年金手当	生活保護	生活技術	金銭管理	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	日常生活自立支援事業(金銭管理支援)
27	33	183	33	53	52	26	33
成年後見制度(説明・申立)	虐待防止支援	徘徊支援	ケアマネジメント支援	地域移行・地域密着支援	本事業問合せ	その他	合計
16	28	1	85	14	5	13	1,830

2. 地域の相談支援体制強化業務

(1) 担当地域ケア会議

障がい者・児が住み慣れた地域で、安心して自立した生活または社会生活が営めるように、障がい者・児またはその家族を対象に、効果的な生活支援サービスや地域の見守りシステムの調整、または入退院・施設入退所の関係機関間の調整を行うことを目的とし、地域の相談支援機関や市外の相談支援機関および多種多様な関係機関との連携会議を開催した。

- | | |
|----------------------|------------------------------|
| ① サービス担当者会議開催参加支援会議 | 開催参加件数 : 159件
参加者数 : 721名 |
| ② 入退院時・施設入退所時多職種連携会議 | 開催参加件数 : 7件
参加者数 : 58名 |
| ③ 困難事例等支援会議 | 開催参加件数 : 91件
参加者数 : 473名 |

(2) 泉州地域障がい者基幹相談支援センター連絡会

泉州地域の障がい者基幹相談支援センターなどが連携し、お互いの知識及び技術の交流並びに研修などを行うことを通じて、泉州地域の障がい者・児に対し、健全で質の高いサービスを提供する環境を整えることにより、地域で暮らす障がい者・児の福祉の増進に寄与することを目的とし、泉州地域障がい者基幹相談支援センター連絡会に参加した。

【参加市町村：貝塚市、岸和田市、和泉市、泉佐野市、高石市】

開催日	内 容	参加人数
3. 8. 27	第1回定例会 ・相談支援事業所等の情報交換 ・社会資源の情報交換 ・各市における取組 ・その他	10名
4. 2. 25	第2回定例会 ・相談支援事業所等の情報交換 ・社会資源の情報交換 ・合同研修会開催について ・その他	9名
4. 3. 28	合同研修会の打ち合わせ	8名

(3) 障がい者自立支援協議会

開催日	内 容	参加人数
3. 6. 30	第1回定例会 ・自立支援協議会の趣旨説明 ・委員紹介 ・会長の選出について ・団体の活動紹介 ・事例紹介（2例） ・その他	26名

* 第2回定例会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった



(4) 障がい者自立支援協議会専門部会

開催日	内 容	参加人数
3. 4. 28	第1回 相談支援部会 <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・高石市孤立ゼロプロジェクト事業の説明、訪問サポーター活動への協力をお願い ・同一事業所、ハローライトについて説明 ・自立支援協議会の進捗状況、メンバー構成について ・その他 	16名
3. 8. 5	第1回 地域移行・居住生活支援部会 <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・緊急時居宅確保事業について ・その他 	23名
3. 8. 30	第2回 地域移行・居住生活支援部会 <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時居宅確保事業について（各関係機関から回答） ・部会長・副部会長選出 ・病院からみた地域移行とは ・今後の取り組みについて ・その他 	21名
3. 9. 8	第2回 相談支援部会 <ul style="list-style-type: none"> ・高石市孤立ゼロプロジェクト事業について ・部会長、副部会長の選出について ・相談支援事業の請求等について ・同一事業所について ・今後の部会の取り組みについて ・その他 	21名
3. 9. 29	第1回 就労支援部会 <ul style="list-style-type: none"> ・部会長、副部会長の選出 ・アンケート結果をもとに部会のテーマを選出 ・資源マップの作成について ・その他 	14名
3. 11. 2	第1回 児童支援部会 <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・部会長、副部会長の選出について ・今後のテーマ ・その他 	20名
3. 12. 15	第3回 相談支援部会 <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・小グループディスカッション ・ニーズの把握、今後の部会について ・行政からのお知らせ ・その他 	21名
3. 12. 23	第2回 就労支援部会 <ul style="list-style-type: none"> ・前回発案の進捗状況について ・部会の取り組みについて ・研修会開催にあたってのテーマの募集 	19名



(5) ネットワーク構築連携

開催日	内 容	参加人数
3. 4. 27	第1回 生活困窮・他機関協働地域包括ケア会議参加	13名
3. 5. 26	高齢者等 SOS ネットワーク事業連絡会（オンライン）参加	17名
3. 8. 27	泉州地域障害者基幹相談支援センター連絡会参加	10名
3. 11. 15	市民向け児童発達支援・放課後等デイサービス等の事業所紹介に参加	46名

(6) 研修会

市の担当課を招き、社会福祉協議会、地域包括支援センター、基幹相談支援センター職員を対象にし、専門職としての資質と向上を目的とした、障がい福祉サービスの研修会を開催した。

開催日	内 容	参加人数
3. 10. 16	「アルコール関連問題の地域包括ケアを考える」研修会で講師役として参加	75名

(7) 啓発活動等

- ① 取石中学校2年生への福祉教育
開催日：令和3年6月21日（月）
場 所：取石中学校
- ② 高石小学校4年生への福祉教育
開催日：令和3年9月28日（火）
場 所：高石小学校
- ③ 清高小学校4年生への福祉教育
開催日：令和3年10月7日（木）
場 所：清高小学校



- ④ 取石小学校4年生への福祉教育
開催日：令和3年10月12日（火）
場所：取石小学校



- ⑤ 取石小学校4年生への福祉教育
開催日：令和3年10月13日（水）
場所：高石小学校

- ⑥ 清高小学校5年生への福祉教育
開催日：令和3年10月15日（金）
場所：高石小学校

- ⑦ 高陽小学校4年生への福祉教育
開催日：令和3年10月21日（木）
場所：高石小学校



- ⑧ 防災時避難訓練
開催日：令和3年11月5日（金）
場所：加茂公園

- ⑨ 加茂小学校4年生への福祉教育
開催日：令和3年11月9日（火）
場所：加茂小学校



- ⑩ 清高小学校6年生への福祉教育
開催日：令和3年11月11日（木）
場所：清高小学校

- ⑪ 高石中学校1年生への福祉教育
開催日：令和3年11月15日（月）
場所：高石中学校

- ⑫ 清高小学校3年生への福祉教育
開催日：令和3年11月25日（木）
場所：清高小学校



- ⑬ 東羽衣小学校3年生への福祉教育
開催日：令和3年11月26日（金）
場所：東羽衣小学校

- ⑭ ボランティアフェスティバルでの啓発活動
開催日：令和4年3月5日（土）
場所：アプラ大ホール

- ⑮ 健康フェスティバルでの啓発活動
開催日：令和4年3月20日（日）
場所：高石駅前



3. 地域移行・地域定着の促進への取組業務

障がい者支援施設や病院等に入所又は入院している障がい者を対象に、住居の確保その他の地域生活へ移行するための支援に取り組んだ。

- (1) 精神科病院からの地域移行 6名
- (2) 一般病院からの地域移行 0名

4. 権利擁護・虐待防止支援業務

本人や本人の家族、または地域住民や相談支援専門員などの支援だけでは十分に問題を解決できない、適切なサービス等につなげる方法が見つからない等、困難状況にある障がい者・児が、地域において安心して尊厳のある生活を送れるように成年後見制度・日常生活自立支援事業の利用促進、障がい者・児虐待の防止とその対応、困難事例への対応、消費者被害の防止・対応などの支援を行った。

- (1) 対応延べ件数 195件
- (2) 障がい者・児虐待防止支援検討会議

障がい者・児の虐待対応協力者による個別の虐待事例に対する状況報告、援助方針、援助内容、各機関の役割、主担当者、連絡体制などについての協議を行うことを目的として、障がい者・児虐待防止支援検討会議を開催した。

- ① 障がい者・児虐待防止支援実数 : 23名
- ② 障がい者・児虐待防止支援ケース検討会議開催回数 : 18件

- (3) 成年後見制度・日常生活自立支援事業利用促進業務

精神障害や知的障害、認知症等によって判断能力の低下が見られる場合に、適切な障がい福祉サービスの利用や金銭管理、法的行為などの支援につなげるため、成年後見制度および日常生活自立支援事業の対象になり得る事案に対して積極的に介入し支援を行った。

- ① 日常生活自立支援事業 33名
- ② 成年後見制度 16名

地域支援事業

1. 生活支援コーディネーター事業

高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していくことを目的とし、関係機関のネットワークや社会資源の活用・開発等を行い、コーディネーター業務に取り組んだ。

- (1) 生活支援コーディネーター配置数
7名
(介護ケアマネジメント業務兼務)



(2) 居場所づくり事業（地域住民主体運営型）

	開設数	設立支援数	運営支援カ所数	スタッフ派遣数
コミュニティカフェ	37	0	65	132

	参加者数
世話人	356
利用者	1,445



2. ネットワーク構築事業

	参加回数	派遣人数
地域調整会議	234	299
関係機関等連絡会	21	64



3. 多機関協働の居場所づくり事業

Café たねまき

市役所別館1階のロビースペースを活用し、地域の誰もが集え、生活情報や地域活動を知って頂く場づくりを目的として、関係団体と協働で居場所づくり事業の企画・運営を進めた。

日時：毎週水曜日 9:30～11:00

場所：高石市社会福祉協議会



(1) 利用状況

* 4～6月・1～3月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止、開催数を減らしての開催。

(2) 協力団体

- ・NPO法人やまびこ（第1、第3水曜日）
- ・NPO法人コラル明日架（第2水曜日）
- ・NPO法人せかんど
傾聴ボランティアグループ「えがお」（第4水曜日）

4. フードバンク高石事業

地域における子ども食堂運営団体、コミュニティサロン活動団体、社会福祉施設、要支援生活者を支援する特定非営利活動法人および地域交流事業団体などに、活動費の負担軽減を図り、併せて地域福祉の向上や世代間交流の場を確保するなど社会福祉の推進を図ることを目的とし、食料品の無償提供を実施した。

(1) 食材支援回数 37回

関西スーパーマーケット高石駅前店より、週1回食材支援の提供を受け、市内子ども食堂等に提供した。



(2) 食材提供先の団体数 48団体 (延べ)

(3) 食材支援協力団体 (1団体)

- ・ 関西スーパーマーケット高石駅前店
(年間約533kg)



(4) 地域からの支援協力 (6名と2団体)

- ・ 専門学校からレトルトカレー
- ・ 子ども食堂使途目的での寄付金 合計210,000円
- ・ カップ麺、スープ、缶詰などの食品
- ・ 子ども食堂からのジュース



(5) 子ども食堂懇親会開催 0回

新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止。



(6) 子ども食堂・世代間交流実施団体 8団体

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、各団体が新しい生活様式を取り入れ、お弁当のテイクアウトを実施された。



高石市「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業

1. 地域力強化推進事業

(1) 「我が事・丸ごと」の地域づくり

高石校区、高陽校区において、住民の身近な圏域で住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりを行った。

① 高石校区、高陽校区小地域包括化推進委員会の開催

開催日	内 容
3. 5. 10	高陽校区五役会 ・見守り部会各地区の報告 ・その他
3. 8. 10	高陽校区五役会 ・ふれあい見守り登録カードについての報告 ・その他
3. 9. 13	高陽校区五役会 ・ふれあい見守り登録カードについての報告 ・その他
3. 10. 11	高陽校区五役会 ・ふれあい見守り登録カードについての報告 ・その他
3. 11. 8	高陽校区五役会 ・ふれあい見守り登録カードについての報告 ・その他
3. 12. 13	高陽校区五役会 ・ふれあい見守り登録カードについての報告 ・その他
4. 1. 12	高陽校区五役会 ・ふれあい見守り登録カードについての報告 ・その他

開催日	内 容
4. 2. 14	高陽校区五役会 ・ふれあい見守り登録カードについての報告 ・その他
4. 3. 14	高陽校区五役会 ・ふれあい見守り登録カードについての報告 ・その他

※高石校区は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催中止。

② 見守り支援（プライバシー保護）部会

各種団体が協働し見守りが必要な地域住民（要援護者）に対し、個人情報保護に努めながら声かけ・見守り支援が円滑に行えるよう、情報交換を行った。

開催日	内 容
3. 7. 14	府営高石綾園住宅 地区懇談会 ・見守り活動の状況について ・見守り活動の課題、今後の方向性について
3. 7. 19	高南 地区懇談会 ・見守り活動の状況について ・見守り活動の課題、今後の方向性について
3. 7. 20	一区 地区懇談会 ・見守り活動の状況について ・見守り活動の課題、今後の方向性について
3. 7. 21	二区 地区懇談会 ・見守り活動の状況について ・見守り活動の課題、今後の方向性について
3. 8. 6	綾園七丁目 地区懇談会 ・見守り活動の状況について ・見守り活動の課題、今後の方向性について



③ 地域課題の把握

地域の課題を把握し情報共有や連携をはかるために、地域や各種団体と訪問を行った。

開催日	内 容
3. 4. 16	高陽校区 綾園七丁目見守り活動 ・見守り対象者訪問
3. 5. 11	高陽校区 一区見守り活動 ・見守り対象者訪問
3. 5. 12	高陽校区 一区見守り活動 ・見守り対象者訪問
3. 5. 14	高陽校区 一区見守り活動 ・見守り対象者訪問
3. 5. 20	高陽校区 一区見守り活動 ・見守り対象者訪問

④ コミュニティカフェ連携部会

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催できず。



⑤ 高陽校区内における相談件数（22件）

病気や健康等	住まい	生活困窮	介護	子育て	家族との関係
0	1	1	3	0	0
地域との関係	DV・虐待	引きこもり	安否確認	その他	相談内容述べ合計
2	0	0	5	10	22

2. 多機関の協働による包括的支援体制構築事業

育児・介護、障がい、貧困さらには育児と介護に同時に直面する家庭など、世帯全体の複合化・複雑化した課題を包括的に受け止める総合的な相談支援体制づくりを推進した。

(1) 配置人数 相談支援包括化推進員 3名

(2) 総合相談

① 相談方法（初回相談のみ）

来 所	訪 問	電 話	文 書	アプラ高石	会 議	その他	合 計
72	103	75	6	0	0	13	269

② 相談者

本人・家族	福祉施設関係	関係機関	アプラ高石	高石校区	その他	合 計
153	21	25	0	0	70	269

③ 相談内容

病気や健康等	住まい	収入・生活費	家賃等の支払い	債 務
61	11	48	15	2
就 労	仕事上の不安・トラブル	地域との関係	家族との関係	子育て
14	1	16	24	0
介 護	引きこもり・不登校	DV・虐待	その他	合 計
73	8	18	163	454

④ 世帯構成

一般	独 居	ひとり親	ダブルケア	8050	障がい+高齢
106	94	1	0	17	2
その他（不明）					合 計
49					269

⑤ 世帯構成年齢

0～18歳	19～39歳	40～64歳	65歳以上	不 明	合 計
3	13	41	156	92	305

⑥ 連携支援先

市生活保護 担当部署	市子ども 担当部署	市高齢 担当部署	市保険・年金 担当部署	その他市 担当部署
12	2	17	1	22
児童相談所	消費生活 センター	医療機関	自立相談 支援機関	地域包括支援 センター
1	1	20	29	223
ケアマネ・ 介護事業所	保健所・ 保健センター	引きこもり支援 センター	障がい者支援 機関	学校・教育機関
27	5	0	25	3
警 察	社会福祉協議会	NPO・ボラン ティア団体	電気・水道等 生活関連機関	商店街・商工会 等経済団体
17	70	1	2	4
不動産会社	一般企業	民生委員・福祉 委員・自治会等	その他	合 計
0	3	17	19	521

(4) 多機関協働地域包括ケア会議

市各課と社会福祉協議会関係機関が一同に集い、困難事例等に関するケース検討や情報共有、支援プランづくりを行った。

開催日	内 容
3.4.27	第1回多機関協働地域包括ケア会議 ・新規ケース検討（1件）・支援プラン作成数・継続ケース検討
3.5.31	第2回多機関協働地域包括ケア会議 ・新規ケース検討（2件）・支援プラン作成数・継続ケース検討
3.6.29	第3回多機関協働地域包括ケア会議 ・新規ケース検討（2件）・支援プラン作成数・継続ケース検討
3.7.29	第4回多機関協働地域包括ケア会議 ・新規ケース検討（2件）・支援プラン作成数・継続ケース検討
3.8.31	第5回多機関協働地域包括ケア会議 ・新規ケース検討（1件）・支援プラン作成数・継続ケース検討
3.9.30	第6回多機関協働地域包括ケア会議 ・新規ケース検討（1件）・支援プラン作成数・継続ケース検討

開催日	内 容
3.10.28	第7回多機関協働地域包括ケア会議 ・新規ケース検討（1件）・支援プラン作成数・継続ケース検討
3.11.30	第8回多機関協働地域包括ケア会議 ・新規ケース検討（1件）・支援プラン作成数・継続ケース検討
3.12.27	第9回多機関協働地域包括ケア会議 ・新規ケース検討（1件）・支援プラン作成数・継続ケース検討
4.1.31	第10回多機関協働地域包括ケア会議 ・新規ケース検討（3件）・支援プラン作成数・継続ケース検討
4.2.28	第11回多機関協働地域包括ケア会議 ・新規ケース検討（1件）・支援プラン作成数・継続ケース検討
4.3.31	第12回多機関協働地域包括ケア会議 ・新規ケース検討（1件）・支援プラン作成数・継続ケース検討

その他

1. 高石市孤立ゼロプロジェクト事業

高石市在住で、行政・教育機関・福祉団体等に関わりのない世帯を中心に、直接訪問調査を実施し、暮らしについての不安や困りごと、その他の日常生活の状況を把握することにより、これからの地域福祉のあり方や地域で支え合う仕組みづくりの実現に向けた『伴走型（寄り添い）支援づくり』を行った。

(1) 事業内容

校区福祉委員や民生委員、自治会、シニアクラブ、婦人団体、ボランティア団体などの地域支援者と、福祉専門職などが訪問サポーター（訪問調査協力員）となっただき、令和3年度中に対象全世帯を集中的に、生活実態調査（訪問調査）を行う。その結果、支援が必要と判断される場合は、支援調整会議を行い、適切な支援提供につなげた。

(2) 調査期間：令和3年8月～令和4年3月

① 訪問サポーター登録者数

地 域	福祉専門職	合 計
211名	83名	294名

② 調査件数

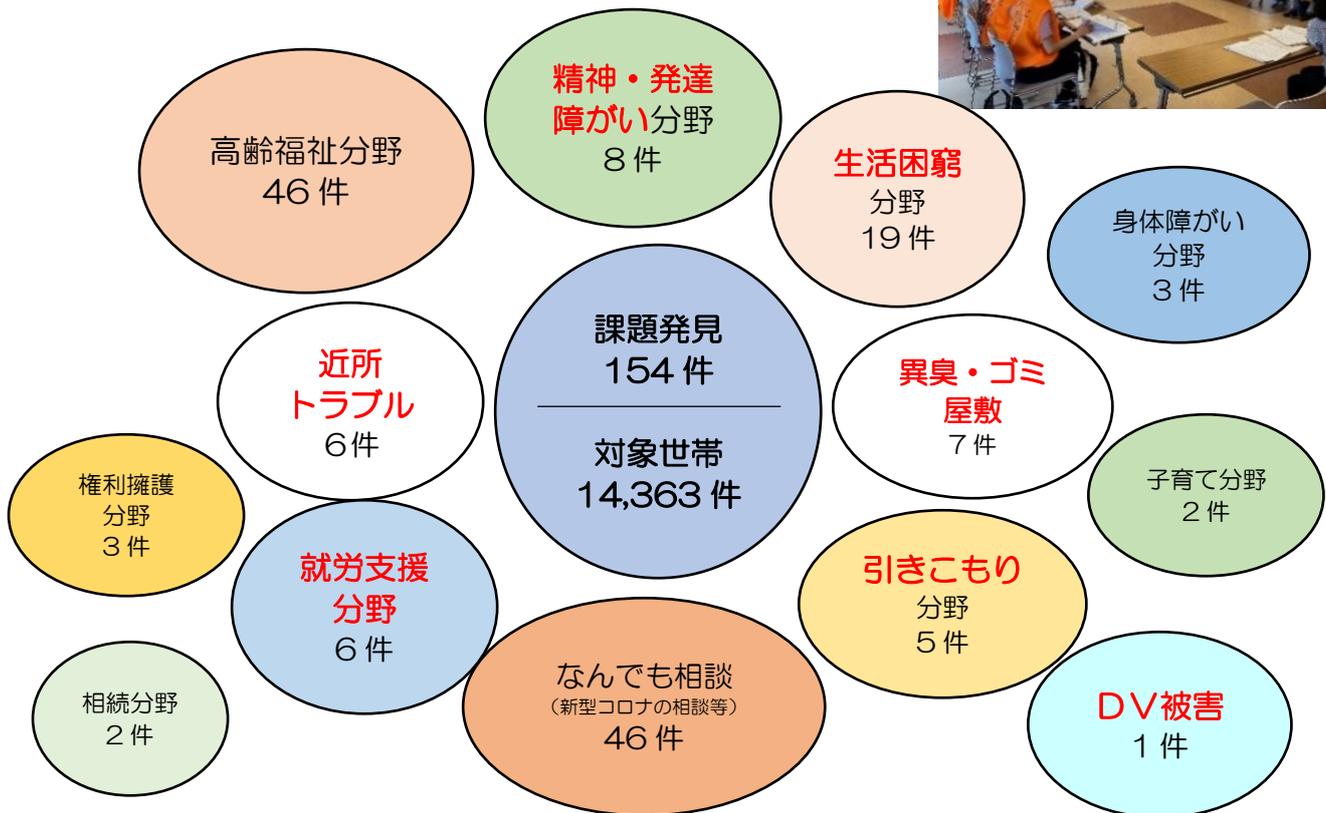
校 区	投函数	回答数	回収率
高陽校区	1,544	321	20.7%
高石校区	2,448	568	23.2%
羽衣校区	1,317	320	24.3%
清高校区	1,813	367	20.2%
加茂校区	919	206	22.4%
東羽衣校区	2,280	606	26.6%
取石校区	2,127	406	19.0%
校区不明 (二次元コード回答者)		171	
合 計	12,448	2,965	23.8%

③ 不在(拒否)時アンケート回収率

校 区	対象数	対 面	拒 否	不在 ※ポスティング	相談数
高陽校区	2,372	873	223	1,499	35
高石校区	2,549	264	90	2,285	27
羽衣校区	1,713	602	172	1,111	21
清高校区	1,856	111	15	1,745	16
加茂校区	1,017	64	2	953	7
東羽衣校区	2,233			2,233	13
取石校区	2,623	563	140	2,060	31
校区不明 (二次元コード回答者)					4
合 計	14,363	2,477	642	11,886	154

※新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置により、調査方法を対面調査からアンケートポスティングに変更している校区あり。

④ 課題分類



⑤ 調査結果

- ・ **地域、福祉専門職、社協の3者が一体**となり訪問調査活動を行ったことにより、“顔の見える関係”を築くことができた。
- ・ アウトリーチ活動によりひきこもり事案、家族等が相談するきっかけにつながった。
- ・ 不在（拒否）時の投函用アンケートについては、約2割の方から回収ができ、支援につながったケースがあった。
また、全世帯（26,000世帯）に、相談窓口の案内チラシを配布したことで、対象世帯以外の方も、相談に来所されたり、電話相談があったり、**相談するきっかけづくり**につながった。

⑥ 課題

- ・ 不在（拒否）宅の継続的フォローや、支援活動について
- ・ **助けを求めない世帯等への把握・アプローチについて**
- ・ 就労世帯とのつながり方法について
- ・ **周囲が気になっているが支援につながっていない世帯への介入について**



⑦ 支援ケース事例

ケース 1

主 訴	背 景	支 援 経 過
<p>新型コロナウイルスの影響で失業し、再就職をしたい。 (60代男性、ひとり暮らし)</p>	<p>年金で生活しているが、自身の健康のため週3回アルバイトを続けていた。新型コロナの影響で解雇されることになったが、また働きたいと考えていたところ、孤立ゼロの不在時アンケートをきっかけに来所される。</p>	<p>アンケートを持参し、窓口で記入される。後日、本人再来所し、主訴を把握。就労支援員につなぎ、正社員採用が決まる。</p>

ケース 2

主 訴	背 景	支 援 経 過
<p>難病と新型コロナウイルスの影響で、自営していた飲食店を閉店中。予約がある時のみ開けている。今後の生活全般について相談したい。 (40代男性、ひとり暮らし)</p>	<p>2015年頃から走れなくなる等あったが、2021年大学病院で2回の検査入院を経て脊髄性筋萎縮症と診断される。自営の飲食店も新型コロナの影響で閉店中。再開するにも身体状況のこともあり、生計が立てられず不安である。離婚後に単身となり相談できるところがなかった。</p>	<p>孤立ゼロで訪問をした際に対面にて相談したいと回答。新型コロナ特例貸付の申請と障がい福祉サービスの利用に向け調整。計画相談支援員を調整し、ヘルパーの利用を開始。公的なサービス外の部分は「まちの便利屋さん」を登録。障がい区分認定を受ける。</p>